

2012年度（2年目）

宮城県名取市委託事業 「仮設住宅健康推進事業」

（東日本大震災被災地支援対策
名取市パイロット事業）

公益財団法人 日本訪問看護財団

JVNF Japan Visiting Nursing Foundation



©日本訪問看護財団

2012（H24）年度の課題と方向性

- 2011年度の**活動の継続**
- 被災地で長期にわたり**支援活動を継続**できる**看護師の養成と組織化**への取り組み
- **未介入の仮設住宅住民**の健康面に対する支援事業
- これまでの**活動を整理**し、今後の災害に備えた看護体制を検討する

2012（H24）年度の活動

事業形態：宮城県名取市「仮設住宅健康推進事業」
を受託

事務所：1室賃貸

看護職：地元の看護職を雇用
保健師1名（相談役）
看護師6名、准看護師（養護教諭）1名
財団本部1名 【常勤換算5人】

対象：6か所（約730世帯）～8か所（約995世帯）

活動内容：23年度と同様（訪問・相談・健康教育・
連携等）

* 復旧、復興を支援する姿勢をより強化し、**自立に
向けた体制整備**を目標に、活動を継続する

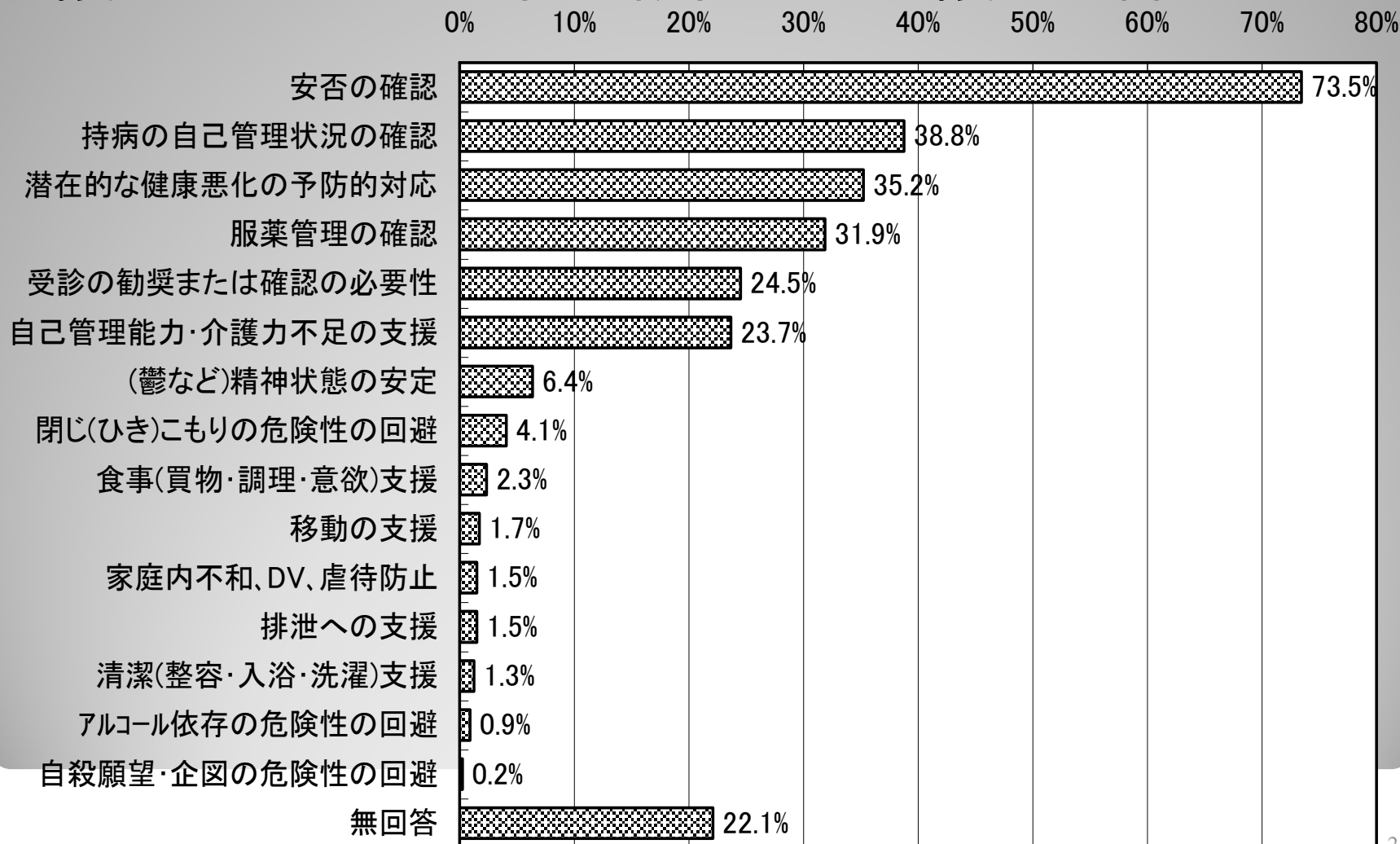
平成24年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 「被災地の応急仮設住宅に暮らす高齢者の健康 支援の実態及びガイドライン作成事業」

研究目的

東日本大震災後に完成したプレハブ応急仮設住宅（以下仮設住宅という）に暮らす住民の健康支援を目的に行われた看護師等によるアウトリーチ活動（以下訪問看護という）の具体的内容と1年半後の住民の健康面の変化を明らかにし、災害後の看護職による中長期支援活動について考察する。

結果（抜粋）

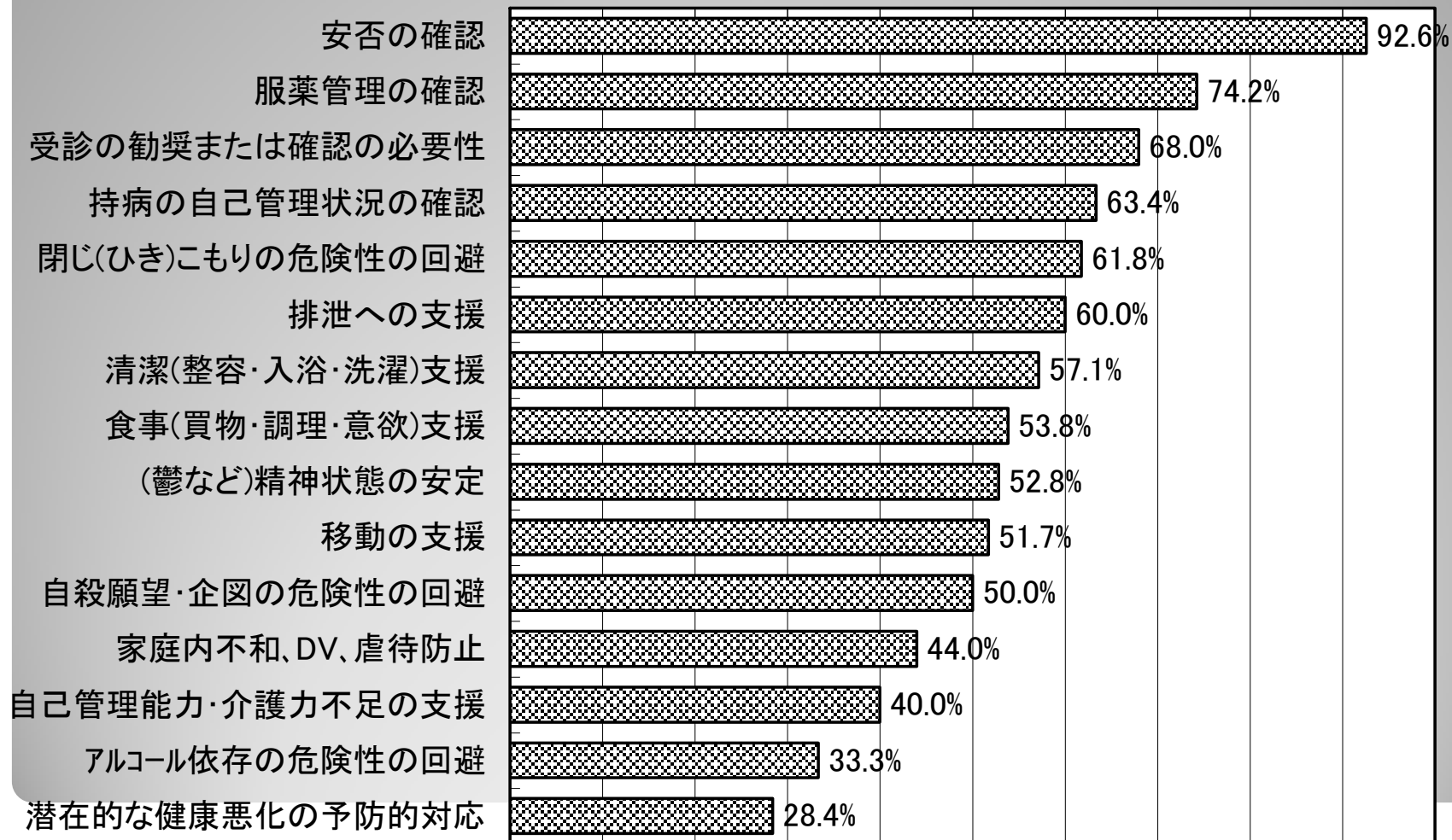
看護師らが判断した初回訪問時の看護上の課題



看護支援により安定した課題

(各項目、当初課題だった人数に対して、安定した人数の比率)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



看護上の課題としては . . .

- ・ 「服薬管理の確認」
心疾患、認知症、糖尿病が多い特徴がみられた
- ・ 「食事・清潔・排泄・移動への支援」の課題が
認知症の人に多かった

看護師等が行う支援の目的・目標は・・・

- ・ がん、心疾患において、
「危険性に伴う異常の早期発見」が高かった。
- ・ 認知症の人の
「生活状態の安定」「要介護申請につなぐ」
「介護保険サービスにつなぐ」が高かった。
- ・ 精神疾患や認知症の人の
「家族関係の安定」が高かった。

考察

1. 仮設住宅は少子高齢社会の日本の縮図

年齢分布は60歳以上が6割を占め、5大疾病を
持病とする人が多かった。我が国の未来の縮図
のような仮設住宅の状況がわかる。

そこでの看護活動は、被災地に特殊な状況で
はなく、他の地域でも起こり得る光景であり、
今後、我が国においては、今後このような健康
支援活動の必要性があると考えられる

2. 短期間に安定するニーズと安定が困難なニーズ
看護師らは、被災者の受診環境の整備や服薬管理自己管理への支援、生活状況の安定などに対しては支援しやすく、その効果も1~2か月後には見られている。

その一方で、精神疾患、アルコール依存、自殺企図、認知症など、精神面での支援には長期間の支援を要している。

また予防的支援は、目標とされていても、達成しにくく、人が予防的行動を起こすことは容易でないことがわかる。

2013年度（3年目）

宮城県名取市委託事業
「仮設住宅健康推進事業」

（東日本大震災被災地支援対策
名取市パイロット事業）

公益財団法人 日本訪問看護財団

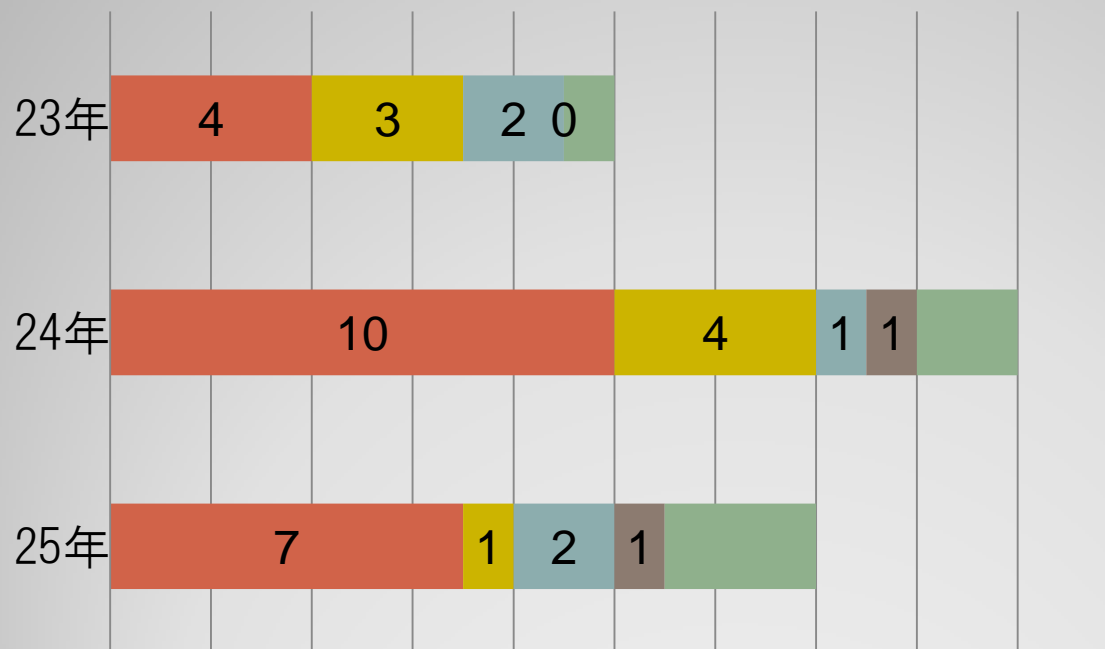
JVNF Japan Visiting Nursing Foundation



©日本訪問看護財団

仮設入居者の死因別死亡数

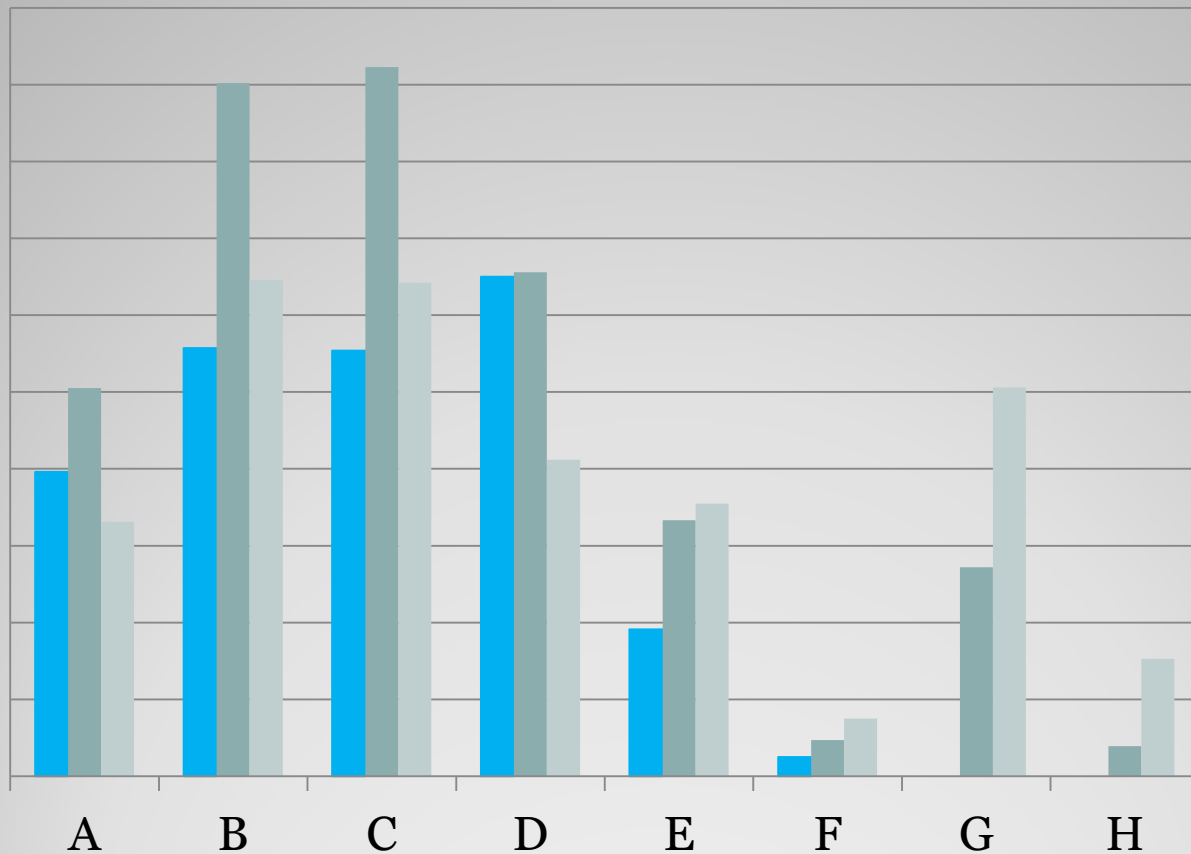
(男35人・女7人)



仮設入居者年代別死亡数



3年間の訪問実績



2014年度（4年目）

宮城県名取市委託事業 「仮設住宅健康推進事業」

（東日本大震災被災地支援対策
名取市パイロット事業）

公益財団法人 日本訪問看護財団

JVNF Japan Visiting Nursing Foundation



©日本訪問看護財団

訪問活動

- 1) がんの早期発見・循環器疾患の悪化防止のため、訪問時に市のがん検診等の受診を勧奨
- 2) 仕事などで会えない人への健康状態把握のため不在訪問連絡票を配布したり、さいかい市場で働く人の健康相談、休日訪問等を実施
- 3) 引きこもりがちの方に、仮設内での交流を図る様働きかけているが、仮設集会所でのイベント参加者が固定化しており、新規参加者は少ない。イベントに誘うのではなく、訪問することによって孤立しないように支援

2015年度（5年目）

宮城県名取市委託事業 「仮設住宅健康推進事業」

（東日本大震災被災地支援対策
名取市パイロット事業）

公益財団法人 日本訪問看護財団

JVNF Japan Visiting Nursing Foundation



©日本訪問看護財団

活動の重点事項

- これまでの活動の継続
訪問看護・健康相談・健康教育・他職種連携
- 訪問看護の質の向上
情報共有の徹底・ショートカンファレンスの
充実・効果的な事例検討会・自己研鑽活動
- 他機関との連携強化
連携シートの利用・I T化への取り組み

まとめ

- 暮らしを良く知っている訪問看護師と保健師の定年後・仕事をしていない登録が必要
- 医療・看護が必要な住民のトリアージ
訪問看護ステーションと在宅療養支援診療所へつなげる役割
- 早急な行政との連携によるきめ細やかなサービス体制の構築